



令和6年7月 第86号

発行

とびうめクラブ福岡
(公益社団法人 福岡県老人クラブ連合会)

〒816-0804 春日市原町3-1-7
クローバープラザ内
TEL (092) 582-9860
FAX (092) 582-9870



令和6年度 福岡県老人クラブ連合会 定時社員総会 開催される

令和六年五月二十一日(火)春日市のクローバープラザで、第十三回目の定時社員総会が開催されました。

来賓としてご臨席されました福岡県知事 服部誠太郎様代理 福岡県副知事 生嶋亮介様、福岡県社会福祉協議会会長 酒見俊夫様代理 常務理事 徳永秀昭様からご祝辞をいただきました。

総会では、令和五年度事業実施状況、令和五年度会計決算、役員選任(案)が慎重審議され承認された後、令和六年度予算の報告がありました。
また、新理事選任後、総会休憩中の第九十回理事会で健康推進委員会及び女性委員会の委員が承認されました。

のばそう！健康寿命、
担おう！地域づくりを

目次	総会 会長あいさつ 後藤清忠	2	南筑後地区【柳川市老人クラブ連合会】	
	知事祝辞 福岡県知事 服部 誠太郎	3	筑豊地区【鞍手町老人クラブ連合会】	
	会長祝辞 福岡県社会福祉協議会会長 酒見俊夫	3	京築地区【みやこ町老人クラブ連合会】	
	新会長あいさつ 松栄 磐	4	令和5年度	
	令和六年度 事業実施方針	5~8	「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」報告	20~22
	令和五年度 決算書	9	「会員増強運動」令和6年度における市町村老連会員	
	令和六年度 予算書	10	増強運動実績一覧	23~24
	地区からの発信	11~19	福岡県老人クラブ連合会役員	25
	福岡地区【筑紫野市シニアクラブ連合会】		令和6年度福岡県老連指定旅館	26~27
	北筑後地区【久留米市老人クラブ連合会・ 八女市シニアクラブ連合会】		老人クラブ会員向けに傷害保険・賠償責任保険で安心補償	28

この機関紙は、共同募金の配分金により発行されたものです。



福岡県老人クラブ連合会 第十三回 定時社員総会

会長挨拶

福岡県老人クラブ連合会

会長 後藤 清忠



第十三回定時社員総会の開
会にあたり、ひとことご挨拶
申し上げます。

本日はお忙しい中、多くの
会員の皆様にご出席いただ
き、誠にありがとうございます。

また、ご来賓といたしまし
て、福岡県知事 服部誠太郎
様のご代理で生嶋亮介副知
事、福岡県社会福祉協議会会
長 酒見俊夫様のご代理で
徳永秀昭様にご臨席いただい
おります。

お二方には、公務ご多忙にも

かかわらず、ご臨席を賜り、心
からお礼申し上げます。

福岡県におかれましては、
高齢者地域包括ケアシステム
の構築などを通じ、高齢者福
祉の増進を図る様々な施策を
進めておられます。

また、「のばそう！健康寿
命、担おう！地域づくりを」を
メインテーマとして活動する
老人クラブと、これを支える
市町村老連や県老連の活動に
ご理解とご支援を賜り、重ね
てお礼申し上げます。

我が国は、超高齢社会に突
入してからすでに二十年近く
が経過し、急速な高齢化に
よって、福祉や医療面でさま
ざまな問題を抱えておりま
す。

一方で、老人クラブの会員
数は年々減り続け、さらに、こ
数年は、新型コロナウイルス
の影響で、クラブ活動の縮
小や中止が相次ぐなど、老人
クラブを取り巻く環境は非常
に厳しいものがあります。

しかし、地域のありようが

変化し、人間関係が希薄化し
つつある今だからこそ、高齢
者による地域活動の重要性は
ますます大きくなっておりま
す。

新型コロナウイルスは、昨
年の五月から五類相当へと変
更され、自粛していた老人ク
ラブ活動についても、コロナ
前の状態へと戻ってまいりま
した。コロナ禍で活動の自粛
が続いていた分、地域の仲間
と実際に顔を合わせ、互いに
支え合い、喜びを分かち合い
ながら、地域を支えていく、そ
ういった活動の重要性を日々
実感しているところでござい
ます。

この活動を継続していくた
め、会員の皆様におかれまし
ては、引き続き、ご理解とご協
力を賜りますようお願い申し
上げます。

当団体も、関係機関と連携
を図りながら、会員の皆さま
とともに、目標の実現に向
かって活動して参りたいと考
えております。

本日は、「令和五年度決算」
をはじめ、三つの議案を提案
しております。

どうか十分なご審議のう
え、ご承認いただきませう、

お願いいたします。
最後に、本日の総会が実り
多いものとなり、老人クラブ
の絆が一層強くなることをお
祈り申し上げます。ごあい
さつといたします。

能登半島地震救援募金へのご協力ありがとうございました

今年1月に能登地方を震源とする大きな地震が発生し、珠洲市や輪島市など各地に甚大な被害をもたらしました。

福岡県老人クラブ連合会として、被災地の高齢者の励ましと被災老人クラブへの支援を行うため寄付金のご協力をお願いしていましたが、福岡県内(福岡市・北九州市の両政令市を除く)で、総額5,721,763円の募金が集まりました。(5月10日現在)

全国老人クラブ連合会によりますと、今後も引き続き寄付を受け付けるとのことですが、6月13日現在で寄付額が146,500,514円となっており、短期間で大勢の会員の皆様よりこのような多額の寄付をお寄せいただき、大変感激するとともに心から感謝申し上げます。

被災地の一日も早い復興を願いますとともに、老人クラブ活動が復活し元気な地域社会が再生されますことをお祈り申し上げます。

知事祝辞

福岡県知事 服部 誠太郎



福岡県老人クラブ連合会定時社員総会のご盛会、誠にありがとうございます。

少子・高齢化の進行に伴い、来年の二〇二五年には人口に対し高齢者の占める割合は約三割となり、三人に一人に近づくと推計されています。また、一人または夫婦のみで暮らす高齢者世帯の増加も見込まれています。このような中、今後地域を維持していくためには、高齢者の方々に地域社会の重要な担い手として、さまざまな場面で一層のご活躍をいただくことが不可欠です。老人クラブ連合会におかれ

ましては、会員の皆さまの固い結束のもと、健康づくり活動や地域支え合い事業などさまざまな取り組みを通じて、高齢者福祉の増進にご尽力をいただいております。

特に、ひとり暮らし高齢者の見守り活動については、民生委員、自治会および市町村との協力・連携のもと、県内全ての市町村で「見守り活動チーム」を編成いただくなど、活動の根幹を担っていただいております。

後藤会長をはじめ、役員ならびに会員の皆さまに、心から敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます。

県では、「高齢者がいきいきと活躍でき、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる社会づくり」を基本理念とした「第十次福岡県高齢者保健福祉計画」を昨年度策定いたしました。この計画において、「福岡健康づくり県民運動」の推進や、経験豊かな高齢者の方々が社会で活躍し続けることができる生涯現役社会の実現に向けた、「福

岡県生涯現役チャレンジセンター」の運営などに取り組むこととしております。

これからも、元気で意欲のある皆さまと、高齢者の活力を生かしたい企業などのチャレンジを応援してまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、福岡県老人クラブ連合会のみならずのご発展と、皆さまのご健勝、ご活躍を心からお祈りいたします。



会長祝辞

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会 会長 酒見 俊夫



本日「第十三回福岡県老人クラブ連合会定時社員総会」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

今日では、コロナ禍前の日常を取り戻しつつありますが、三年以上にわたり続いたコロナ禍や物価高騰等により、まだまだ生活に困窮している方々も多くおられます。人と人とのつながりの希薄化、支え合いの仕組みの脆弱化など、地域住民が抱える様々な地域生活課題が複雑化・複合化する中、誰もが孤立せず、生きがいを持って、

住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らしていくためには、人と人とのつながりを強化し、誰もが支えあう地域をとものに創っていくことが求められています。

このような中、貴連合会におかれましては、地域のひとり暮らし・高齢者世帯などへの友愛訪問や子どもの見守り活動、グラウンド・ゴルフなどのスポーツ大会を通じた健康・生きがいづくり、仲間づくり活動など、地域を支え地域に根差した活動に取り組んでおられます。これもひとえに、後藤会長をはじめ、長きにわたり高齢者福祉に献身的に取り組んでこられました歴代の会長や役員並びに会員の皆様の御尽力の賜物と深く敬意を表します。

私も福岡県社会福祉協議会では、地域の福祉課題を地域全体で解決することを目標に掲げ、誰もが安心して暮らせる地域の仕組みづくりを、関係機関・団体と連携・協働して取り組んでおります。

今年も、はつらつとした高齢社会を築くため「福岡県ねんりんスポーツ・文化祭」が開催されます。本会は実行委員会事務局として、多くの皆さんに参加いただけるようしっかりと準備を進めてまいります。

また、十月十九日から二十三日の四日間には、鳥取県で開催されます今年で三十六回目となる「全国健康福祉祭」と「とり大会」には、福岡県からも多くの選手・役員を派遣することとなっておりますが、福岡県老人クラブ連合会としても、本県選手の活躍を支えていただきますようお願い申し上げます。

本会では、両大会の成功に向け、貴連合会と共に力を合わせて参る所存でございますので、御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の今後益々の御発展と、皆様方の御健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

新会長就任あいさつ

福岡県老人クラブ連合会

会長 松栄 磐



この度、後藤清忠会長の後任として、福岡県老人クラブ連合会会長を務めさせていただきましたことになりました、松栄磐です。

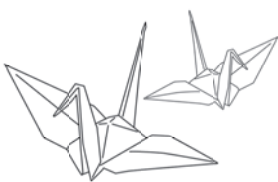
一言ご挨拶申し上げます。

高齢者を取り巻く現状を見ると、世界有数の長寿国である日本では、寿命が延びる一方で介護を必要とする人が増え続けています。ある調査によると、介護が必要な平均期間は約五年。「家族に負担をかけたくない」「トイレやお風呂で人の手を借りたくない」と誰でもが願っています。

が、現実はそのとおりではありません。自分の足で歩けるように、日頃から足腰を強くしておくことが必要です。

老人クラブでは健康寿命をできるだけ伸ばすことを目指して、グラウンド・ゴルフ、ゲートボールなど健康づくりや、仲間づくりそして社会奉仕活動に積極的に取り組んでまいります。私たち高齢者が、住み慣れた地域で継続的に豊かな暮らしが送れるような老人クラブとして活動していく所存ですので、皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

最後になりますが、後藤会長をはじめ今回退任されました皆様には、本会のために身体的にご尽力いただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



令和六年度 事業実施方針

I メインテーマ(全国共通)

「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

〈健康寿命〉

○健康寿命をのぼし、自立した生活、生きがいある生活の実現を目指す。

○仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組む。

〈地域づくり〉

○他世代や関係団体と連携し、安全・安心の住みよい地域づくりを目指す。

○元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり・機会づくりを広げる。

II 老人クラブ大会宣言 事項の実践(全国共通)

現在、わが国では、少子・高齢化、人口減少が進み、社会経済、家族、地域といった基本的条件とその環境が大きく変化しています。

さらに、三年以上にわたる新型コロナウイルス感染症の広が

りは、社会全体に大きな影響を及ぼし、とりわけ高齢者の健康、生活、活動の制限や、社会的な孤立、孤独などといった事態を顕在化させました。そうした情勢を背景にして、高齢者のニーズに向き合い、見守り、支え合うことで、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、安心、安全のまちづくりをはかることが、今後ますます必要となつてまいります。

また、本年は、「老人福祉法制定六十周年」にあたります。「人生百年時代」という超高齢社会においては、「健康維持」「生活安定」「社会参加」という法の理念に基づき、時代の変化や地域特性に応じて、あらためて高齢者福祉の再構築をはかることが、喫緊の課題となっております。

そのため、私たち老人クラブには、今後とも会員の意欲と行動、住民の励ましと協力、行政の理解と支援のもとに、健康、友愛、地域貢献など多彩なクラブ活動を通じて、仲間はずとよ

り、地域コミュニティとともに高齢者が生きがいのある生活ができるような「共生社会」の実現のために、一翼を担っていくことが期待されています。

第52回全国老人クラブ大会

宣言事項

令和5年11月8日

- 一、健康長寿をめざす
「健康活動」の推進
- 一、暮らしを見守る
「支え合い活動」の展開
- 一、高齢期を豊かにする
「生きがい活動」の充実
- 一、あらゆる世代と連携した
「地域貢献活動」の推進
- 一、高齢者の尊厳が守られる
「社会保障制度」の確立

III 基本方針(県老連)

高齢者の自主組織として、健康寿命の延伸及び相互扶助の観点から同世代の見守りや支え合い活動を通じて、地域社会の中で期待される役割を担うとともに、全老連が提唱する運動を踏まえながら、生きがいややりがい、喜びなど高齢者が榮

しく参加できる魅力ある老人クラブ活動を展開し、仲間はずとよ、地域コミュニティとともに高齢者が生きがいのある生活ができるような「共生社会」の実現に資することとする。

1 健康づくり・介護予防活動の推進

関係機関との連携、人材の活用等により、高齢者の健康保持、フレイル(虚弱)・介護予防を進め、健康寿命の延伸を目指し、高齢者が健全で安らかな生活を保持できるよう努める。併せて、健康づくり推進の中核となるリーダーの養成に努める。

2 高齢者・地域支え合い事業の推進

高齢者のネットワークを生かし、訪問活動を通じた孤立防止や閉じこもりがちな高齢者を対象とした友愛活動を基盤とする幅広い生活支援等高齢者の暮らしを支える取組を推進するとともに、こども見守り活動や防災・防犯のまちづくり、関係団体等と連携した地域課題の解消に取り組み、支え合いの地域づくりに努める。

3 組織活動の強化に向けた 取り組みの推進

市町村老連及び単位クラブの活動・組織の一層の充実強化を図り、老人クラブ活動を更に活性化させる。このため、若手会員及び女性会員の参画を促進するとともに、新たな要綱等に基づく会員増強運動を継続的に推進する。

4 全国共通目標の推進

全老連が提唱する全国共通目標を積極的に推進する。

5 制度・政策、高齢者に係る 課題等の学習・実践

老人クラブ活動の意義の周知に努めるとともに、社会保障制度の学習と提言、提案活動など、積極的な社会参加に努める。

6 会員の安全対策と連帯意識の高揚等

老人クラブ活動中の事故や会員の日常生活上の事故に備えた「老人クラブ保険」の普及と会員の連帯意識を高める仲間のしるしである会員章の普及を通して、活動強化を図る。

IV 具体的方針（県老連）

公益目的事業

1 健康づくり・介護予防活動の推進

(1) 健康づくり・介護予防活動の組織的な取組の展開

健康推進委員会を中心として、健康づくり、フレイル・介護予防活動の組織的な取組を進め、健康寿命の延伸を目指す。

- ① 三大スポーツ大会（ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ペタンク）の実施
- ② シニアスポーツ・レクリエーション活動の普及とそのための講習会の開催
- ③ いきいきクラブ体操、健康ウォーキング、高齢者向け体力測定の普及・推進
- ④ 人材（医師や看護師、栄養士等経験者）の活用による健康づくりの推進
- ⑤ 市町村老連が行う「健康づくり事業」の支援
- ⑥ 健康づくりを推進するリーダーの養成

・「体力測定講習会」の実施

・全老連主催の研修会等への会員の派遣

⑦ 市町村などの行政をはじめ、健康づくり関係団体との連携

(2) 全国「健康をすすめる運動」の実践

「健康をすすめる運動」推進研修会等を通じた健康づくりの輪の拡大

2 高齢者・地域支え合い事業の推進

(1) 在宅福祉を支える友愛活動の推進

- ① 「高齢者ネットワーク推進事業（愛の一声・友愛訪問事業）」の推進
- ② 「高齢者相互支援リーダー研修会」の実施
- ③ 全老連主催の研修会等への会員の派遣
- ④ 新地域支援事業（介護予防・日常生活支援総合事業）への参画

・老人クラブの活動が、高齢者の介護予防や生活支援に資することへの理解と周知に努め、行政・関係機関と連携・協力して事業に参画するなど、幅広い生活支援を推進する。

(2) 地域支え合い事業の推進

① こども見守り、防犯・防災、交通安全、災害等緊急時の対応等

・こどもの安全を守るため、登下校時などの見守り活動の推進

・地域や高齢者の暮らしを守るため、防犯をはじめ各種安全対策、交通安全活動の推進

② 防災幹旋事業を始めとした災害時に備えた支援活動等の推進

・消費者被害・特殊詐欺対策の強化

・地域のネットワークや研修会を通じて、高齢者を狙う悪質業者等による消費者被害・特殊詐欺被害の未然防止を図る。

③ 全国一斉「社会奉仕の日」～花のあるまち、ゴミのないまち～の取り組みと通年活動の計画的な推進

(3) 地域の関係機関との連携

① 地域包括支援センターなど地域の関係機関との連携による高齢者の支援

老人クラブは、地域の高齢者の状況に精通してお

り、今後増加が懸念される認知症をはじめ各種情報を関係機関と共有しながら、高齢者支援を推進する。

② 行政・警察、学校・PTA、自治会、社会福祉協議会、民生委員等地域団体との連携による情報の共有及び各種制度の学習機会拡大

③ 地域の関係者と連携した住民参加型活動への参画（生活支援・助け合い活動）

3 組織活動の強化に向けた取組の推進

(1) 会員増強の一層の推進

令和六年度からスタートする新たな「会員増強運動」を継続的・組織的に推進する。

① 女性部が主導して会員全員で取り組む活動方針の周知徹底と実践の拡大
・ 会員一人ひとりによる友人・知人・配偶者を始め、未加入者に対する加入の呼びかけ
・ 老人クラブ活動への参加呼びかけ等体験参加の促進及び地域活動への積極的な参加

② 老人クラブ活動の魅力や有用性、会員増強の意義・メリットの発信・周知

③ 老人クラブの解散（休会、休眠）防止と支援体制の充実・強化及び未設置地域へのクラブの新設並びに未加入クラブの加入促進

④ 自治会等地域組織との連携強化、他の組織・機関と連携した活動の輪の拡大

⑤ 後継リーダーの育成

(2) 老人クラブリーダーの育成
① 「会長研修会」「事務局長研修会」など系統的な研修事業を通じたリーダーの育成

② 全国老人クラブ大会や九州ブロック老人クラブリーダー研修会及び全老連主催の研修会等への会員の派遣

(3) 若手、女性会員の登用の促進

① 若手会員や女性会員の役員への登用の拡大
・ 若手リーダーの養成、若手委員会の立ち上げの取り組み

・ 女性委員会を中心に、市町村老連の女性組織の活性化と女性役員の拡大

・ 各種リーダー養成研修会への若手・女性会員の参加等によるリーダーの養成及び登用の促進
② 「女性リーダー研修会」の実施

(4) 魅力ある老人クラブづくりの推進
新たな行事やサークル活動を企画するなど、単位クラブが行う生きがいややりがい、楽しみなど魅力ある老人クラブづくりを推進する。

(5) 表彰
① 県老連会長表彰、全老連会長表彰等による老人クラブ活動への貢献に対する顕彰及び意欲の喚起
② 会員増強に係る県老連会長表彰の実施

(6) 市町村老連との連携・情報の共有
① 事務処理体制の整備、県老連事務局と市町村老連事務局との連携の強化、電子メールを活用した情報伝達の効率化及び市町村老連等の事務負担の軽減に努める。

・ ホームページ、電子メールなど多様な情報通信手段を活用した事務処理の推進
② 各種研修会や会議、ホ

(7) 広報活動の推進
老人クラブの日頃の活動や魅力、意義について、会員のみならず、地域住民や地元企業などにも広く知ってもらい、新たな仲間づくりにつなげるために、多様な媒体を活用して、以下のような広報活動を展開する。

① 県老連機関紙「福老連」の配布、研修会などを通じた情報の提供

② 単位クラブが行う行政や自治会等の関係機関、近隣の駅や病院、銀行、農協等身近な組織に対する情報提供による老人クラブ活動への理解の促進

③ 単位クラブが行う町内会の回覧板による広報誌の回覧

④ 分かりやすい紙面づくりやパソコンによる初歩的な「広報紙づくり研修会」を開催し、老人クラブの広報担当者の資質向上を図り、老人クラブ活動の魅力の発信に努める。

⑤ ホームページを活用し、多様な情報を掲載して、広報活動の強化及び市町村老連との情報の共有化を図る。

(8) 全老連や九州ブロック連絡協議会が開催する各種会議に出席する等、高齢者や老人クラブ活動・運営に係る情報収集及び連携を図る。

4 全国共通目標の推進

(1) 会員増強への取組

全国的な取組の重点でもある会員増強について、見直し後の「福岡県老人クラブ会員増強運動実施要領」に基づき、引き続き会員増強に努める。

(2) 全国三大運動「健康・友愛・奉仕」活動の推進

① 健康活動(健康づくり・フレイル予防活動)
・健康を保持・増進するフレイル(虚弱)予防活動の推進

- ・運動、栄養、社会参加を柱とした学習と実践
- ・「いきいきクラブ体操」「高齢者向け体力測定」「健康ウォーキング」の推進

② 友愛活動(高齢者が相互に支え合う活動)

・友愛活動を基盤とした幅広い生活支援活動の推進

・多様な生活支援・通いの場づくり、見守り支援、健康づくり支援、情報伝達支援の推進

・新地域支援事業への参画推進

・認知症、孤立死防止、高齢者虐待等の学習・実践と地域関係者との連携

③ 奉仕活動(ボランティア活動)
・「社会奉仕の日」一斉奉仕活動の推進

・高齢消費者被害防止に向けた学習・支援体制づくり

(3) 高齢者の健康づくり・生活支援活動の推進

高齢期を健康で互いに支え合いながら暮らしていくことは、高齢者自身の幸せのみならず、医療や介護、福祉など社会保障制度の健全な発展にも寄与する。人口減少と少子高齢化が進行する中において、老人クラブは、これまでの実績を生かし、健康寿命の延伸と地域における支え合い活動のすそ野を広げるため、積極的

に健康づくり・生活支援活動に取り組む。

5 制度・政策、高齢者に係る課題等の学習・実践

(1) 老人クラブの組織強化・活動への理解促進と予算の確保

① 県老連、市町村老連の各段階における地方自治体、議会、一般市民に対する老人クラブ活動のPR

② 新たな自主財源開拓に向けた調査研究及び予算確保に向けた取組の強化

(2) 社会保障制度等の学習と提言・提案活動

- ① 医療・介護・福祉等の社会保障制度をはじめ、交通安全、消費者被害・特殊詐欺被害、防災・防犯など高齢者に関わる課題の学習、実践活動
- ② 高齢者をめぐる制度・施策に対する提言・提案等

6 福利厚生・相互扶助等事業

6 会員の安全対策と連帯意識の高揚等

(1) 老人クラブ傷害保険及び賠償責任保険の普及拡大
老人クラブ活動中の事故

や会員の日常生活上の事故に備えた「老人クラブ傷害保険及び賠償責任保険」の普及拡大に努める。

(2) 老人クラブ会員章の普及拡大

(3) 指定旅館数の回復、利用促進
全国の会員をつなぐ仲間のシンボルである「会員章」の普及による連帯意識の高揚

指定旅館からの賛助収益は重要な自主財源の一つであることから、会員に対する指定旅館制度のさらなる周知を行い、指定旅館数の回復に努める。

その他法人の目的を達成するための事業

7 県老連組織の運営等

- ① 社員総会、理事会、委員会・各種会議等の活性化による県老連活動の充実
- ② 公益認定法に基づく公益社団法人としての組織体制の整備
- ③ 行政をはじめ、社会福祉協議会等高齢者福祉の増進に資する関係機関・団体との連携強化

令和 5 年度 決算書

I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益		公益	収益	その他事業	法人	合計
基本財産運用益	基金利息				351	351
特定資産運用益	受取利息	8			46	54
会費収入	受取会費	4,976,400			4,976,400	9,952,800
県補助金	県老連助成事業費	9,923,000				9,923,000
	活動推進員設置	6,102,000				6,102,000
	高齢者相互支援	1,551,000				1,551,000
	魅力ある老人C	1,130,000				1,130,000
	高齢者ネットワーク	6,214,000				6,214,000
	高齢者スホ-ツレク	4,522,000				4,522,000
	小計	29,442,000	0	0	0	29,442,000
民間助成金等	共同募金会	1,200,000				1,200,000
受取拠出金	受取会員章拠金			22,600		22,600
受取寄付金	受取寄付金					0
雑収入	受取利息	140			12	152
	雑収益	116,159		220,000		336,159
	指定旅館料		1,700,000			1,700,000
	小計	116,299	1,700,000	220,000	12	2,036,311
経常収益計		35,734,707	1,700,000	242,600	4,976,809	42,654,116
(2) 経常費用						
支 出	報酬	209,000			127,000	336,000
	給料手当	14,295,539	994,810	99,480	936,238	16,326,067
	臨時雇賃金	21,000				21,000
	退職給付費用	346,424	43,303		43,303	433,030
	福利厚生費	2,167,819	139,255	13,483	150,235	2,470,792
	会議費	1,072,765			74,940	1,147,705
	旅費交通費	2,992,589			529,980	3,522,569
	研修参加費	108,000				108,000
	通信運搬費	1,059,230	134,921	220	19,926	1,214,297
	減価償却費	9,886	1,034		576	11,496
	消耗品費	1,890,162	10,132		41,927	1,942,221
	印刷製本費	2,196,338	530,779		81,565	2,808,682
	光熱水料費				86,677	86,677
	賃借料	641,972	67,181		37,323	746,476
	保険料	58,800				58,800
	諸謝金	518,151				518,151
	租税公課				4,950	4,950
	支払負担金				764,000	764,000
	支払助成金	9,694,000				9,694,000
	委託費	35,244	1,584		376,772	413,600
広告宣伝費	130,900				130,900	
雑費	4,290			87,016	91,306	
貸倒損失			80,000		80,000	
経常費用計		37,452,109	2,002,999	113,183	3,362,428	42,930,719
当期経常増減額		△ 1,717,402	△ 302,999	129,417	1,614,381	△ 276,603
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計		0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計		0	0	0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 1,717,402	△ 302,999	129,417	1,614,381	△ 276,603
他会計振替額		59,900	0	△ 59,900	0	0
税引前一般正味財産増減額		△ 1,657,502	△ 302,999	69,517	1,614,381	△ 276,603
法人税、住民税及び事業税						0
当期一般正味財産増減額		△ 1,657,502	△ 302,999	69,517	1,614,381	△ 276,603
一般正味財産期首残高						32,178,770
一般正味財産期末残高						31,902,167
II 正味財産期末残高						31,902,167

令和 6 年度 予算書

I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1)経常収益		公益	収益	その他事業	法人	合計
基本財産運用益	基金利息				1,000	1,000
特定資産運用益	受取利息				1,000	1,000
会費収入	受取会費	4,771,500			4,771,500	9,543,000
県補助金	県老連助成事業費	10,123,000				10,123,000
	活動推進員設置	6,102,000				6,102,000
	高齢者相互支援	1,551,000				1,551,000
	魅力ある老人C	1,130,000				1,130,000
	高齢者ネットワーク	5,814,000				5,814,000
	高齢者入ホートルレク	4,522,000				4,522,000
	小計	29,242,000	0	0	0	29,242,000
民間助成金	共同募金会	1,200,000				1,200,000
受取拠出金	受取会員章拠金	0	0	10,000	0	10,000
雑収入	受取利息	1,000				1,000
	雑収益	110,000		230,000		340,000
	指定旅館料		1,600,000			1,600,000
小計	111,000	1,600,000	230,000	0	1,941,000	
経常収益 計		35,324,500	1,600,000	240,000	4,773,500	41,938,000
(2)経常費用						
支 出	報酬	209,000			127,000	336,000
	給料手当	14,623,800	1,037,200	95,500	1,120,500	16,877,000
	臨時雇賃金	35,000				35,000
	退職給付費用	425,048	42,505	10,628	53,129	531,310
	福利厚生費	2,463,700	183,200	14,600	183,500	2,845,000
	会議費	1,028,000			87,000	1,115,000
	旅費交通費	3,549,000			605,000	4,154,000
	研修参加費	151,000				151,000
	通信運搬費	730,000	140,000		40,000	910,000
	消耗品費	1,255,000			40,000	1,295,000
	減価償却費	16,000	2,000		1,000	19,000
	印刷製本費	2,364,000	500,000		105,000	2,969,000
	光熱水料費				90,000	90,000
	賃借料	752,000	80,000		46,000	878,000
	保険料	94,000				94,000
	諸謝金	512,000				512,000
	租税公課				5,000	5,000
	支払負担金				764,000	764,000
	支払助成金	9,294,000				9,294,000
	委託費				400,000	400,000
広告宣伝費	100,000				100,000	
雑費				100,000	100,000	
経常費用 計		37,601,548	1,984,905	120,728	3,767,129	43,474,310
当期経常増減額		△ 2,277,048	△ 384,905	119,272	1,006,371	△ 1,536,310
2. 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益 計		0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用 計		0	0	0	0	0
当期経常外増減額						
0						
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 2,277,048	△ 384,905	119,272	1,006,371	△ 1,536,310
他会計振替額		53,608		△ 53,608		0
当期一般正味財産増減額		△ 2,223,440	△ 384,905	65,664	1,006,371	△ 1,536,310
一般正味財産期首残高						32,354,097
一般正味財産期末残高						30,817,787
II 正味財産期末残高						
						30,817,787

地区からの発信

福岡地区

令和五年度、シニアクラブ 会員増強運動について

筑紫野市シニアクラブ連合会
紫シニアクラブ

会長 中村 隆一



この度、令和五年度福岡県老人クラブ連合会の会員増強運動において当紫シニアクラブが四名の増員を果たした事に対し、図らずも表彰を受けました。

このシニアクラブの増員運動は、ご承知のとおり全国的に

会員の減少が続いていることから、毎年会員増強運動が推進されてきていますが、なかなか増員がなされていないのが実態のようです。

今、全国的に高齢者の比率が二十九パーセント前後と徐々に増加の一途を辿っているにも拘らず、逆にシニアクラブ連合会の会員が減少し続けていることは、それぞれの地域の様々な理由も影響して、会員の増強が難しくなっているのが実態のようです。

地区の行事に参加して、役員、福祉委員、民生委員との情報交換をする事も必要かと思えます。

いずれにしましても、高齢者の仲間同士の日ごろからの繋がりや密にしながら、シニアクラブ入会の積極的な働きかけを行い、健康寿命増進のためと、その地域の繋がりをより一層密にしていくことが、シニア

クラブ会員の増加に繋がっていくのではないかと思います。最近、会長をされる人材がいなくて退会するクラブが見受けられます。最後に、人材の発掘育成も、これからの増加に必要なことだと思います。

私の趣味 断捨離と終活

筑紫野市シニアクラブ連合会
永岡シニアクラブ

会長 雨河 裕樹



人生を紐解くと、全てが中途半端であった。

生来の器用貧乏が影響したのか、地位・名誉・金にも縁がなかった。高校の同級生に、国立大学・医師・博士号・国会議員・大臣・勲章と、この世の栄華を極め、子供も大臣になっ

ている方がいます。十六歳から何が違ったのだろうかといつも思います。趣味もたくさんあり
①カメラ：中学生の時に父からオリンパスペンSハーフカメラを買ってもらい、リコーをはじめハーフカメラを今も多く所有している。その後、一眼レフカメラ・レンズでペトリ・トプコン・キャノン・ニコン等を所有している。思いの強いのは、コンパクトです。

②バイク：五十cc〜四百ccまで一時期七台所有していた。中古のバイクを購入し、あつちこつちを修理し、使えるようにしていた。記憶に残る機種は、モンキーと鈴木二百五十ccとバンバン二百五十ccです。良いバイクでした。

③ラジコン模型：主にボートが主体で地球堂の木製キットから制作した。現在仕掛品を含め十三台転がってるし、模型エンジンは一箱ある。

④ステレオ：管球アンプをはじめ、トランジスタアンプ等十台程度転がっている。ターンテーブルも四台ある。スピー

カーに至っては、数多くある。それに伴い、LPレコードも山口百恵をはじめとして、岩崎宏美等数多くあります。

⑤ キャンプ用品：学生時代に登山に興味を持ち、寝袋・テント・登山用品が多く転がっている。

⑥ お遍路：一時期四国・篠栗・九州・西国等を巡礼し、今も四国遍路の御朱印帳を大事に保管している。

⑦ 雑誌：カメラ・オートバイ・真空管・模型等の雑誌を大切に保管している。

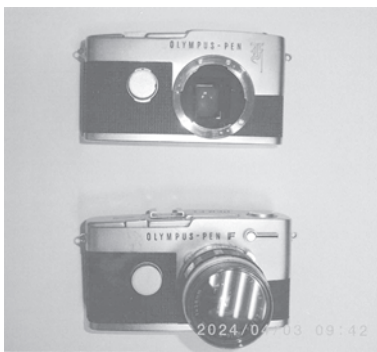
⑧ めだか：最近ハマっている趣味ですが、何時死んでも妻に迷惑をかけないように「みなみめだか」一本にしぼっています。きれいなメダカはたくさんありますが、全て外来種となり、簡単には処分できません。みなみめだかは田んぼのめだかなので、近くの山口川に放流しても影響は少ないようです。

妻・子から、八十歳近くなり何時お迎えが来るかもしれないから断捨離と終活を徹底するよう、口うるさく言われている。最近大腸ポリープが見つかり、五月に手術を予定している。毎日「私のおもちゃ部屋」に

登り、どうするか？と思案するばかりで一つも進まない。自宅も五十年経過し、あっちこっちひび割れが発生しているが、もう屋根にも上れず、脚立にも上れなくなり、転職七回のため年金も少なく、病気も一割で楽ではあるがそれだけ収入が少ないということだ。

人生で良かったのは、二十歳代から受験して国家資格を二十六個ほど取ったが、実際金になつたのは三個ぐらいで後は宝の持ち腐れになってしまった。同じ受験時間を掛けるなら、難しい金になる資格を一つだけに絞れば良かったと反省している。

断捨離・終活は難しいけれど、酒・たばこ・賭け事・色ごとに全く手を出さず、自由気ままに生きた人生に悔いはありません。



北筑後地区

老人クラブ活動に

加えたい新たな流れ！

ツールとしての
老人クラブ運営統合
エクセルシートの提案

久留米市老人クラブ連合会

副会長 永田 進



老人クラブはコロナ禍を何とかやり過ごしましたので、今は明るく活発な方向に向きたいと思いますが、活動の回復は不十分です。

久留米市老人クラブ連合会では、老人クラブ数の減少の一つの要因である、老人クラブ活動に伴う、事務作業の負担を軽減するためにパソコンを活用することを支援する「事務お助け隊」を市役所長寿支援課の協

力も得て設立し、令和四年、五年に活動してきました。今回は、「事務お助け隊」の発足過程と活動内容、得られた経験を報告いたします。

「事務お助け隊」の発足と活動内容

一 立ち上げに至る経緯

久留米市老連会長（松栄磐）

より、

・全老連が発行している「老人クラブリーダー必携」に老人クラブへの国からの新規メニューとして、事務作業をサポートする「事務お助け隊」のことが載っている。詳細を確認して、当市老連でも活用できないか？との提起が有りました。

・老人クラブ所管の久留米市長寿支援課に相談し、市としても県に要望する旨の返事有り、令和四年度の市の新規事業に計上され、補助金の申請を行い事業を進めました。

二 現状の調査

「事務お助け隊」を発足するに当たって、設立準備として現状の単位クラブでの会計の実施状況を調査しました。エクセルを使用しているところでも、

使用方法は初歩的で改善の余地はありそうです。そこで、準備した会計用エクセルシートを提示したところ便利であるが、単位クラブの総会用資料も同時に作成できると良いというような意見もあり、持ち帰り単位クラブ補助金申請・報告と単位クラブの運営にも使える統合エクセルシートに仕上げることになりました。

三 教材の準備

会計用エクセルシートを使っていただくに当たって、エクセルを使ったことのあるレベル以上を対象者と設定し、エクセルシートの基礎教材と実際に使っていくツールとしてのエクセルシートを設計し、仕上げました。

四 P R活動と活用セミナーの実施

完成した老人クラブ運営用統合エクセルシートを使っていただくため、P R活動として、市老連理事会で説明すると共に、校区老連毎に、単位クラブ会長等に集合していただき、老人クラブ運営用統合エクセルシートの有用性をP Rし、後日会計担当者等に集合いた

き研修会を実施しました。
五 セミナーの実施実績等
ア.令和四年度

- ・市老連理事会での事業説明三回
- ・校区老連への意見聴取二回
- ・校区老連

- ・セミナー開催八校区・町老連(セミナー参加者数十七名)
- ・期末に初年度のセミナーで気づいたエクセルシートの使い難さの改善実施

イ.令和五年度

- ・市老連理事会での事業説明三回
- ・校区(町)老連理事会での事業説明十一回(参加者数百六名)
- ・セミナー開催四校区
- ・町老連(セミナー参加者数二十三名)

六 活動の成果

セミナー実施直後のアンケートでは、エクセルの基礎的な使用方法が分かった、提供されたエクセル会計シートは役に立ちそうだとの声を確認することができました。また、新しいことを勉強するおもしろさを感じたとの意見もありました。現在、令和六年度の計画を策定中ですが、セミナー受講者からの体験談や要望等を集約し、さらに有効な事業に仕上げる予定にしています。

「事務お助け隊」講師としての思い

パソコンなど使わなくても良いとの意見がありますが、パソコンを仕事で使いこなした団塊の世代以降の方が今後老人クラブ活動の主体となる時期にきています。これらの方のためにも活動のツールとして準備しておくことに意義があると思います。

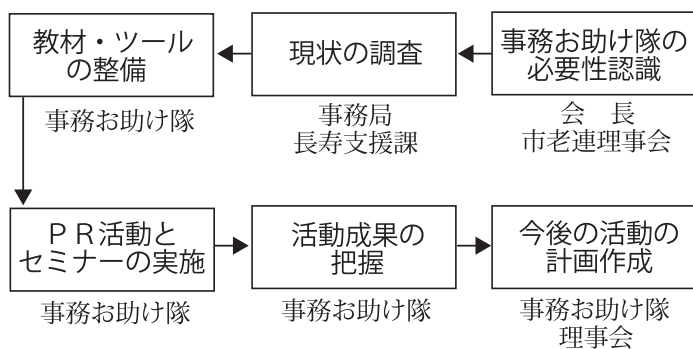
活動が、ほぼ滞りなく進んだのは、ツール準備側の努力だけでなく、老人クラブ活動の一助として関心を持たれた校区老連・単位クラブの方々がセミナーを受講してくださったこととです。

今回は、行政によるシーズをうまく活用した事例ではないかと思えます。事務お助け隊は、下記のような手順で実施事項と担い手をリレーしながら進めてきました。

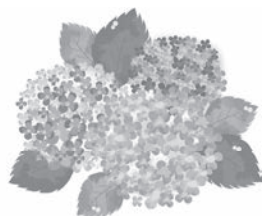
初期の目的を達成するため今回の活動を振り返り、今後の活動に活かしていきたいと思えます。

講師を引き受けた私自身の感想
今回、事務お助け隊の中で、教材の準備やセミナーの講師

を担当いたしました。教材の準備では、素材として提供いただきました内容確認や使い易い改善を行いました。セミナーはエクセルの基礎と今回の統合エクセルシートの使用方法説明の2段階で行い、この中で、私自身がエクセルの基礎の再確認出来、またどのように説明したら判り易くなるかを考える新たな機会を得、頭の中がリフレッシュしたようです。
・下記は今後の予定も含んでいます。



※「事務お助け隊」は事務局と講師で構成



参考：統合エクセルシートのメニュー画面

地域と共に明るく、楽しく 元気で健康長寿を目指す

八女市シニアクラブ連合会
矢部支部

支部長 石川 高幸



いきいきサロン活動支援ボランティア(杣の会)の活動について紹介します。

いきいきサロン活動支援ボランティア(杣の会)十二年前に発足し、依頼により各地域に出向き支援を行っています。

支援員数は十一名(女性九名・男性二名)平均年齢相当高い?最高齢者九十歳 月二回、定例会、世間話と打ち合わせ、出し物の練習など二時間程度行います。

☆内容・体操、脳トレ、リズム体操、ゲーム、レクリエーション、スポーツなど。

依頼により地域に出向くと

久しぶりに会う人も多く、元気がじやったネ、どげんしとったネと雑談から始まります。体操、脳トレを始める、数えながら手を叩き、叩く回数(例えば三、五、七など)は声に出さないでと言うと、何処からともなく七、九くと空耳か天の声かが聞こえてきて間違えた時には大きな笑いが起きます。間違える脳が刺激され若返る、十回間違えば、帰るときは少年少女合唱団になって帰れるヨ、でまた笑いが起きます。ゲームでは負けた人の特典として童謡や十八番の唄など歌ってもらいます。その人たちは恥ずかしそうに、嬉しそうに披露し、拍手喝采を浴びます。最後は、今日も楽しかった、また来てねと笑顔で別れます。

最近はいきいきサロン活動支援のみならず、地域外の活動に依頼されたり、矢部公民館祭りや特別養護老人ホームのお誕生会などに呼ばれたりしています。

矢部公民館祭りでは九名が

舞台の上上がり、脳トレ・リズム体操を見学者も一緒になつて披露し、楽しかった、良かったと喜ばれ拍手を受けます。

特別養護老人ホームのお誕生会も、体調に合わせて軽い運動をしたり童謡を一緒に唄ったり、メンバーによるカラオケを披露すると感激したり一緒に踊ったりと大変喜ばれています。

自分の健康維持と充実した人生を送りたい、少しでも地域の人に喜んでもらえれば良いと、老体にムチを打ち頑張る杣の会です。



南筑後地区

柳川市老連・大和町 老人クラブ活動の 活性化をめざして

柳川市老人クラブ連合会
大和町老人クラブ

会長 上妻 勝吉



一 社会貢献活動について
（一）子供の見守り活動について
柳川警察署は、平成十五年六月に全国に先駆けて「安全・安心まちづくり運動」を計画され、それを実施されました。その計画内容は、毎週金曜日は早朝より交差点や小学校正門前での交通指導が行われ、夜は午後七時三十分～十時まで夜間パトロール隊が編成される等、一昼夜かけての「安全・安心まちづくり運動」は、現在でも展

開されています。

こうした経緯を踏まえ、大和町の老人クラブでは、町内に六校の小学校がありますので、それぞれの小学校周辺での見守り活動を実行しています。

（二）各地域の神社境内等の清掃作業
各校区内にはそれぞれの神社がありますので、老人クラブは神社の清掃作業に取り組んでいます。加えて、大和町の戦没者の慰霊塔については、毎月各校区で当番制をとり、清掃作業に取り組んでいます。

（三）農業振興への協力作業
町内では、環境保全委員会（農業振興の一環）が、クリーク周辺や農道周辺の環境整備を図るため、周辺の「缶」や「ペットボトル」や「素材ゴミ」等を拾い集める作業を年間三回ぐらい行い、農業振興に協力しています。

二 友愛活動について
町内の老人クラブ会員の全員より百円募金を行うと同時に、タオル一本の寄贈をお願いします。

百円募金とタオルは、町内の各施設五ヶ所（老人ホーム）へ訪問し、それぞれの施設で利用されますので、各施設とも大

変感激されています。

また、各校区では、コミュニティセンター等へもタオルの配布を行っています。

三 健康づくり活動について
大和支部の活動では、九月に室内スポーツを開催し、その競技としてはスマイルボール大会・ガラツキー大会・輪投げ大会・ビン倒し大会等の四種目の競技を行います。室内競技でありますので、応援者も多く大変盛り上がる大会となります。

他には、七月にペタンク大会を行い、十月には県・ねんりんスポーツ大会を開催し、一月には男性料理教室を開催するなど、それぞれの健康づくり活動に取り組んでいます。

さらに各校区では、ペタンク大会やグラウンド・ゴルフ大会の予選会が開催されると同時に、女性部では3B体操やフラダンス・お茶会等が行われています。

その他には、各校区とも男性料理教室を開催しています。

最近では参加人員が減少しているため、競技種目の検討や開催時期等も含め検討する必要がありますと考えています。いずれにしても健康づくりが目的で

ありますので、一人でも多くの方々が参加できる競技や日程を検討していく必要があると思います。

四 認知症予防活動について
各校区の女性部長を中心に、見守り活動を推進しています。現在では、八十歳以上の一人暮らしをはじめ八十五歳以上の夫婦（どちらかが病气）等については、お茶やタオルを持参して家庭訪問活動を行っています。（家庭訪問活動日程「お茶は五月・七月・九月・十一月」「タオルは六月・八月・十月・十二月・二月」）

また、月に一回の会議（理事会）が開催されますので、その時点での情報交換も行われています。

この認知症予防活動については、民生委員や福祉委員の方々は市役所の調査資料をもつて行動されていますが、老人クラブには調査資料はありませんので、誰が認知症であるかは分からないまま、訪問活動を行っています。

以上が大和町老人クラブで取り組んでいる「クラブ活動内容」であります。

藁細工・注連縄作りを

楽しみながら認知症予防

柳川市沖端老人クラブ連合会

会長 堀江 洋介



二十年前位前に、正月飾りの注連縄作りの研修会に出席し、その時以来、きれいな注連縄作りを目指して頑張っています。しかし、なかなかそう簡単にはいきません。

各地には、藁細工の名人と呼ばれる人がおられると思いますが、とてもそこまでは難しいので、今は、手足と頭を使って健康維持、認知症予防のためにやっています。

特に興味があったのは、注連縄に飾ってある亀や鶴でした。ウオーキング中に、玄関に飾ってある作品を見て、これを何とかして作りたいと真下から眺

め、右下から眺め、左下から眺めては作り、何回も繰り返し何とかものになり、公民館の文化祭に出品しました。

それを見た人の中から、自分たちも作りたいと思う人達が集まり約十年注連縄作りを続けています。藁の手配、乾燥、藁打ち、藁選り、シダ採り、橙の準備など高齢者には厳しい作業もありますが協力しながらやっています。

個人的には注連縄以外の藁細工に興味があり、ネット検索で色々な作品を見たり、動画を見たりして、名人や神様の様な人達の技術を勉強させてもらい、次のような作品を作れるようになりました。

注連縄では、ごぼう締め・大根締め・鼓胴締め・輪締め。

単品では、亀・鶴・伊勢海老・うさぎ・虎・龍・イノシシ・犬・祝い結・横綱結・厄除け結・招福結・宝船・アマビエ・ミニ俵・ミニ箒・鍋敷き等。

藁細工は日本の伝統工芸品の一つであり、これからも受け継がれていかねばならないと思います。残念ながら、稲刈

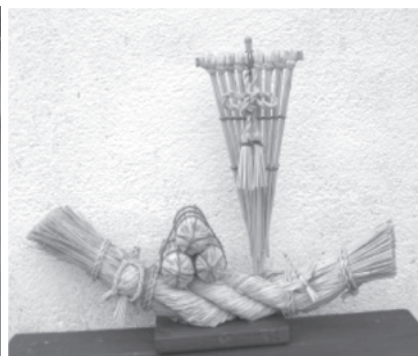
りがコンバインになり、藁が細かく裁断され特別に依頼しなると手に入らない時代となりました。それでも何とかして手に入れて続けていきたいと思っています。



定番の注連縄



今年初めて作った辰飾り注連縄



宝船



妖怪アマビエ
コロナ退散で活躍

筑豊地区

みんなが笑顔・みんなが健康・みんなが社会貢献

鞍手町老人クラブ連合会

若生会会長 山下 住人



*高齢化時代と言えば、独居老人・老老介護・認知介護など暗いイメージがある。私たちは、老いと共に健康でありたい、高齢者相互支援が定着した街を最終の棲み処にしたいと理想の街づくりを目指して十五年。

*活動実績を、A：元気な老人会、B：高齢者相互支援、C：社会貢献と社会参加、D：特記、E：R五年度の実績、F：今後の予定、以上六項目に分類
A：元気な老人会
*鞍手一元気な老人会を目指

- して十五年
- ①：平成二十一年、サロン活動導入・二回／月。健康づくりと友達づくりに特化
 - ②：スポーツの導入で健康づくり、グラウンドゴルフとペタンク、年間二百六十二回・延べ参加者四千三百四十七人。二十四日／月×二十名前後参加。ラジオ体操と公園清掃
 - ③：サロンの内容は、認知症予防・屋内ゲーム等で健康づくり等
 - B：高齢者相互支援の街づくり
*高齢者相互支援が定着した街
 - ①：サロン不参加者に広報「顔晴れ」宅配、
 - ②：広報担当が毎週七名目安に訪問
 - ③：サロン開催日に希望者限定で送迎
 - ④：室内の片付けと庭の剪定作業など
 - ⑤：自然災害等の独居者の見守り
 - ⑥：高齢者が集まる機会と場所づくりサロン
 - C：社会貢献と社会参加
 - *出来る人が、出来ることを
 - ①：十四年前から銭太鼓で介

- 護施設慰問
- ②：公園の清掃と周辺の公道清掃
 - ③：公園に、秋桜やパンシ植え付け
 - ④：R六年は、荒地地を開墾して秋桜の植え付け
 - D：特記
 - *九回も受賞
 - ①：H三千／会員増強県老連会長賞
 - ②：H三十／鞍手町衛生連合会賞
 - ③：H一／全国老人クラブ連合会活動賞
 - ④：R一／鞍手町善行賞
 - ⑤：H二／福岡県地区衛生連合会賞
 - ⑥：H二／内閣府国務大臣社会参加章
 - ⑦：R二／高齢者支援福岡県知事賞
 - ⑧：R三／全老連優良老人クラブ賞
 - ⑨：R四／内閣府エイジレス章(元会長)
 - 広報「顔晴れ」*十五年間毎月発行・現在百八十一号
 - ①：広報「顔晴れ」創刊。令和六年七月現在、百八十一号発行・一回／毎月×十五年間継続
 - ②：広報「顔晴れ」は、福岡県老人クラブ連合会H／PにR五年八月よりUP

- E：若生会のR五年度実績
*毎年、参加者の多さに驚いている。
- ①：令和六年四月十四日に若生会総会会員五十二／参加四十三名
 - ②：令和五年度年間活動回数三百三十三回参加者累計五千三百八十七人
 - ③：サロンの開催実績11年間二十三回・参加人数延五百四十八人
 - *サロンの内容*参加者の年齢や体調に合わせて色々工夫している。
 - ①手・指先を使った遊び、②折り紙等色々、③紙風船、④棒体操、⑤脳トレ、⑥輪投げ、⑦DV鑑賞など、⑧屋外運動が出来ない人向けに企画
 - F：今後の予定
 - 令和六年も、元気な老人会、健康づくりと一家一美の美しい街づくりを目指す。



鞍手に移り住み、仕事も一段落する中、老人会組織はもちろんのこと地元への社会活動を考えている時に近くの介護老人施設の職員の方から利用者を元気づけるお手伝いをして欲しいと依頼がありました。夫に相談すると歌で元気付けたらどうかと提案されました。

夫は高校時代から合唱部に、依頼当時は直方シンフォニー合唱団に所属していました。

私も歌が大好きでしたからこれをきっかけに活動を始めました。当時は施設へ訪れて童



「亡き夫の思いを胸に
元気に歌っています」
鞍手町老人クラブ連合会
上新橋老人会寿会
元女性部長 勝木 桂子

謡やみんなが知っている唱歌などを披露して行きました。施設の訪問を重ねていく内にお手伝いの協力者も増えて、鞍手町のボランティア「鞍手童謡・唱歌の会」と銘打って平成十八年に会の発足をさせました。会員も二十九名になり月に八、九回の頻度で地元病院や介護老人施設へ訪問をしました。大きな用紙に歌詞を書き写し、それを見ながらアカペラで合唱をしました。会員の皆さんも大きな声が出せるよう練習を重ね、レベルを上げて行きました。夫も訪問先のお年寄りから感謝の言葉を受けてやり甲斐を感じ活動していましたが、発足して八年目の年に病に倒れ八十歳で帰らぬ人となりました。私は失意の中、会の中断を考えましたが、会員のみなさんや訪問先の皆様の励ましの言葉もあり、数ヶ月後に慰問を再開することが出来ました。悲しみも声を出して歌うことにより元気が湧き出て、またそれ以上に皆様の笑顔で喜んでもらえることで私の心もだんだんと癒やさ

れていきました。夫と共に立ち上げたこの会を続けることが私の役目と自覚することが出来た。この会には大切にしている理念、信念があります。それは、

- 一、相手の立場を考える。
- 一、人との和を大切にすること。
- 一、感謝の心を忘れない。
- 一、楽しく元気に歌うこと。

会員のみなさんの自主的な活動でそして自由参加をモットーにしています。

みなさんからも「この会は負担が少ないから参加し易いよ」と言っていて頂いています。今年で十八年目を迎えています。特に令和の新型コロナ時期には施設側からの依頼停止で存続の危機があり、会員も十六名になりましたが、地元病院や介護老人施設また高次脳機能障害の会『エール』の方からの依頼も増えて現在は月に四、五回の依頼で活動も元に戻りつつあります。私も高齢になりこの会をさらに末永く継続出来る組織として次の会員へバトンタッチを行い、現在相談役とし

て見守っています。会員のみなさんと共にまたこの会をご利用して頂いている皆様を元気に戴きながら、そして感謝しながら毎日を楽しく過ごさせて頂いています。



京築地区

子ども会と老人会の神事
三世代合同のおみこし作り

みやこ町老人クラブ連合会
勝山支部

上黒田2老人会 有光 博子



令和五年四月、新型コロナウイルスの影響で出来なかつた黒田天満宮の神事が四年ぶりに行われる事になりました。その際、子ども会(たちばな子ども会)も大人の神輿と一緒に参加するようになっていきます。しかし、上黒田地区も年々子どもの数が減少し、神輿を作る親達も減り、それを作れる状態ではなくなってきました。

それで、子ども会より老人会へ、神輿の竹作りの要請がありました。他の会員に相談したと

ころ、経験があるから手伝うことになりまして。早速、お父さん達の切った竹をお爺ちゃん達が上手に道具を使って割り、一本づつ鎌できれいにしていきます。お父さん達もそれに習って仕上げます。それを公民館で子どもとお母さんが色紙をつけていくと次々きれいな柳が仕上がりました。祭りの当日は、小雨の中でしたが、大人の神輿に続いてきれいに飾られた子ども神輿の姿がありました。「カーン・カーン・カーン」と鉦が鳴ると「ソーレラー」と元氣よくいっぱい綱を引く、揃いの法被(はっぴ)姿の子ども達が見られ、地域の人たちから声援を受けました。



霊山に放つ甘い香り

「天女の花」

みやこ町老人クラブ連合会

事務局長 井上 哲也



「天女の花」をご存知ですか。和名はオオヤマレンゲ。モクレンやコブシの仲間で、高さは四メートルくらいまで成長します。花は純白で花の径は六から七センチメートル。横向き、またはやや下向きに咲き、独特の甘い芳香を放ちます。この甘い香りと白く可憐な姿から、中国では「天女花」とも言われています。

国内の自生地は大峰山(奈良県)が有名です。大峰山は「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界遺産にも登録されています。この花を県内では

英彦山でのみ見ることができ。時期は、梅雨の六月上旬から中旬にかけてです。鑑賞するには英彦山北岳の麓の高住神社から登るのが最短コースです。

登山道に沿って歩くと、ロケットのような形をした岩が現れます。「逆鉾岩」と言われていましたが、二十六年の地震で先端の岩が落ちたので、以前の面影はありません。そこからしばらく歩くと「シオジ林の看板」を目にします。この林を通り抜けると、断崖絶壁の岩場が見えてきます。その岩場の下に柵で囲まれたオオヤマレンゲが自生しています。

大峰山も英彦山も修験道の霊山なので、ひよっとしたら修行中の山伏が植えたのかもしれないですね。英彦山のオオヤマレンゲは個体数が極端に少ないので、福岡県の絶滅危惧種に選定されています。庭園によく植えられるおしべが赤紫色のものは朝鮮半島、中国原産のオオバオオヤマレンゲです。ちなみに北朝鮮の国花とい

う意外な顔もある「天女の花」。この美しくて気品のある花を見て欲しくて、私が所属する筑豊博物館研究会(ホームページは <https://www.light.ne.jp/~inonet/>)で、以前「英彦山にオオヤマレンゲを見に行こう」という自然観察会を実施しました。ところが時間になっても集合場所の駐車場には誰も姿を現さず、すなわち参加者はゼロ。オオヤマレンゲという名前ではアピールが弱かったようです。今回は英彦山のこの名花のことを知って欲しくて「天女の花」で紹介しました。



令和五年度 「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」報告

令和五年度

全老連主催「高齢者の健康
づくり・生活支援セミナー」
に参加して

に参加して

大木町老人クラブ連合会

会長 鳥取 英記



東京都千代田区の新霞が関ビル全国社会福祉協議会「灘尾ホール」にて十二月四日、五日の二日間に渡って研修会が開催され、参加させて頂きました。

目を輝かせた八十九名の参加者が一同に会して、意義の深い研修会でありました。

開会に先立ち、厚生労働省老健局認知症施策地域介護推進課

課長補佐の挨拶があり、その後全国老人クラブ連合会副会長 古都賢一氏の基調報告がありました。特に『福祉の原点は「人が人を支え合うこと」』という内容に感銘を受けました。

で、青森県、徳島県から2人の会長さんの事例発表でした。事例発表① 青森県青森市老人クラブ連合会 若手委員会

午後からは医療関係の講義でした。特に東京歯科大学老年歯科補綴学講座主任教授の『オーラルフレイル予防で健康寿命を延ばそう』の講義の中で、以下の三点が大事であると仰っていました。

- ・口が弱った事によって状態が悪くなり、身体におよぼす影響は多大であるため、しっかりと噛んでたくさんお話しして健康寿命を達成すること
- ・八十歳で二十本の歯を持つという、八〇二〇運動。
- ・かかりつけ歯科医を持つておく。

という内容の深い話でした。その後、『地域で取り組む健康づくりと支え合い』というテーマ

で、青森県、徳島県から2人の会長さんの事例発表でした。

地域の中での関係者が共同で取り組む「まちなかいきいきサロン」の活動の中でロコモ体操、ふまねっと・脳トレ、折り紙教室、フレイル予防等に取り組み続けて地域に関係なく参加できる。生活の中で気軽に立ち寄れる場所（スーパーや行政の窓口にあるフロアー等）で、地域と連携を取り、老人クラブ活動のPRに力を入れておられる報告。

事例発表② ちよっととした手助けや、おせっかい、まかせて会員活動で取り組む友愛活動、地域の事情に合わせて効果的、効率的な見守りが出来るよう単位老人クラブ会長が、訪問員を選任し訪問員ごとに年間計画を作成し

て頂き、月に二〜三回対象者の見守り・声掛けを実施されている「ちよっとしたお手伝い」が出来るとして登録し、手助けを必要としている方へのお手伝いをする制度で、活動されているという報告。

場所は違っても、老人クラブの活動の本質は同じであることを認識するとともに、老人クラブ活動は人と人との関わりであると感じました。

事例発表の後には、グループ学習となり二十一のグループに分かれて(四名、五名、六名)情報交換会があり、私は十グループ所属で、メンバーは四名でした。和歌山県紀の川市老連女性部長、栃木県日光市老連副会長(女性)、岐阜県甲府市シニア連会長のグループでした。紹介の傍ら、活動状況や日頃の活動の悩み事も話され、多種多様な活動が勉強になりました。話題がたくさん出て有意義な時間でした。

一日目の最後は順天堂大学名誉教授武井正子先生による

『高齢期の運動による健康づくり、介護予防』のテーマで講義でした。運動は、誰でも出来る健康づくり。意欲的に運動する事で、健康づくり、介護予防に取り組める。運動とは筋肉と骨、関節の連携プレイ、脳神経系が動きコントロールする。いかに日頃から身体を動かして体調を整えることが大切であるかを話された。終わりに椅子に座ってのいきいきクラブ体操を指導され、体操の効果のポイントを詳しく話され、いきいきクラブ体操の意義も良く分かりました。

二日目は「地域で取り組む健康づくりと支え合い」をテーマにダイヤ高齢社会研究財団主任研究員先生のお話しでした。
・老人クラブが創り出すチカラ「ヒトと人情と場」いつもの誰かといつももの場でつなぐの力を誰かが引き出してくれる自信につながる。

・人との交流が多いと健康にプラス、笑いのある生活が健康にプラス、地域組織への参加

は健康にプラス。という内容が心に残りました。これからも活動の場を広げて、老人クラブの地域に密着した地道な活動を続ける事がいかに大切であるかを再認識しました。

今回の全老連セミナーに参加し、冊子の中にも各講師の話資料が綴られており、会場のステージの奥の壁のスクリーンいっぱい資料が映し出され、解りやすく話を進められ感銘致しました。

今回学んだ事を、これからの老人クラブ活動に生かし、実践して行きます。



広川町老人クラブ連合会

女性部長 緒方ソト江



昨年十二月四日と五日の二日間「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」に参加させていただきました。全国大会には初めての参加でした。百名ほどのセミナーでした。

各地から集まったの二日間はとても充実していて、良い勉強をさせていただきました。これまで他の地区のことはあまり知らない私でしたが、いろいろな地区の人のお話が聞けて良かったです。皆さんがとても活発に動いておられることに感心しました。

まず一日目は、全老連副会長の挨拶と基調説明があり、午後には講義「上手な医療の受け方」のお話を聞きました。休憩後は

歯と口腔オーラルフレイル予防についてとても分かりやすくお話をしてくださいました。

その後は青森県と徳島県のかたの事例発表でした。よその地域のお話を聞くと、どの活動も「うちの地域でもやってみよう」と思うことばかりでした。青森県の「まちなかいいききサロン」は、地域に関係なく生活の中で気軽に立ち寄れる場所でのサロンということで、素晴らしいと思います。体操だけではなく、脳トレや絵がみ、折り紙教室など体操に参加できない人でも楽しめるサロンなのがいいです。徳島県三好市の友愛活動はぜひ見習いたいと思います。私個人としてはちよつと顔を見て手伝ってあげたいと思っても、その一歩がなかなか踏み出せないでいます。近所に最近奥様を亡くされて一人暮らしの九十歳の男性がおられるのですが、いろいろ考えると近寄りがたいのです。三好市のように友愛訪問活動を今後私の地域でも実施できるように前向きに考えていき

たいと思います。こういう活動が定着していったら、一人暮らしの老人が少しは「あした」が楽しくなっていけばいいなと思います。

事例発表の後はグループ別に分かれて、他県の活動の様子や会員増強などの現状について意見交換をしました。どの県でも会員増強には大変苦労してあるようでした。特に皆さんのお話の中で、新規の会員さんのお誘いに行ったときに「まだ若いので」「まだ仕事をしているので」というような理由で加入を断られることが多いということでした。どこでも同じだなと思いました。

そのあとは武井先生のお話を聞かせていただき、体操をして一日目を終了。

二日目は、前日と同じグループのまま講義を受けました。地域での支え合いについてのお話と、日常の事故や災害から身を守ろうというお話を、とても分かりやすくしてくださいました。

最後には高齢者の食生活の

あり方のお話を聞きました。当たり前のことだけど、改めてお話を聞くと、すごく納得という感じがしました。

今回研修に参加させていただいて、改めて日々の健康と人と人のふれあいが大事なんだと実感した二日間でした。研修に参加させていただき、ありがとうございました。

嘉麻市老人クラブ連合会

女性部長 **渡邊 美千代**



三十七道府県からリーダー・事務局合わせて八十九名の参加者、二日間の講義の中で、医療、口腔、運動、支え合い、安全、栄養など各分野の専門家の講話がありました。

最初の全国老人クラブ連合会副会長挨拶にもあったよう

に、「老人クラブ活動の良さを知ってもらおう。その中で大きな気づきや・知らない人との交流・支え合いが原本となつていく。」本当にそうだと思います。

今回、私のような若輩者が大きな大会で研修を受けて、他県から参加された何十年もの間経験を積まれ、老人クラブをリードされてきた会長の話を聴けたことは、これからの私の老人クラブ活動の中で大きな力となり、自分一人では何もできないけれど、地域で生活するために、色んな人の助けが必要で、いろんな知恵を出し合い、支え合うことの大切さを知り、そのことが自分のためになっている。自分が健康で、笑って、楽しく活動していけるように小さなことでもよいので、それを見つけて、他の会員さんの拠点・拠り所となるような老人クラブにしていきたいなと思いい、日々の活動の積み重ねの大切さをひしひしと感じた二日間でした。

また、福岡県から参加された

大木町老連の鳥取会長、広川町老連の緒方女性部長お二人との親睦も私の宝物となりました。

最後に右も左も解からない私を東京まで引率された、県老連事務局・松田さんの気づかいや配慮に心より感謝とお礼を申し上げます。

本当にありがとうございます。お疲れさまでした。



「会員増強運動」令和6年度における市町村老連会員増強運動実績一覧

平成26年度から5年間取り組みました「福岡県3万人会員増強運動」に引き続き、令和元年度からは新たな「会員増強運動」に取り組んできました。令和6年度からも要綱を一部改正して引き続き取り組んでまいりますので、ご協力をよろしく申し上げます。

連合会名		会員数の状況			会員増 クラブ	増減無 クラブ	会員減 クラブ	解散 休止	新設 復活
		令和6年度	令和5年度	増減					
1	朝倉市	3,893	4,799	-906	8	12	55	9	0
2	筑紫野市	1,903	2,225	-322	11	5	29	6	0
3	春日市	1,510	1,583	-73	8	5	14	1	1
4	大野城市	1,657	1,706	-49	9	3	17	0	0
5	宗像市	1,098	1,259	-161	7	3	18	2	0
6	太宰府市	1,006	1,029	-23	4	6	11	1	0
7	糸島市	4,031	4,499	-468	25	17	43	7	0
8	古賀市	983	1,079	-96	6	2	16	1	0
9	福津市	1,674	1,683	-9	11	4	22	0	2
10	那珂川市	608	650	-42	6	2	8	2	1
11	宇美町	327	376	-49	2	5	4	1	0
12	篠栗町	745	771	-26	4	1	12	0	0
13	志免町	670	690	-20	4	1	8	0	0
14	須恵町	962	1,019	-57	3	3	16	0	0
15	新宮町	698	795	-97	3	2	9	2	0
16	久山町	519	538	-19	3	1	3	0	0
17	粕屋町	1,106	1,140	-34	7	1	11	0	0
18	筑前町	1,314	1,447	-133	1	6	15	1	0
19	東峰村	403	370	33	2	1	4	0	1
20	久留米市	13,618	14,724	-1,106	63	50	127	13	2
21	八女市	4,085	4,576	-491	18	15	75	8	1
22	筑後市	1,273	1,424	-151	4	3	22	3	0
23	小郡市	915	1,137	-222	2	3	16	0	0
24	うきは市	3,374	3,565	-191	20	11	46	1	0
25	広川町	1,705	1,885	-180	7	3	17	1	0
26	大刀洗町	1,423	1,485	-62	6	1	18	0	0
27	大牟田市	457	435	22	4	3	8	1	2
28	柳川市	7,718	8,386	-668	29	28	94	10	0
29	大川市	3,479	4,200	-721	7	14	59	5	0
30	みやま市	1,276	1,466	-190	3	10	19	1	0

連合会名	会員数の状況			会員増 クラブ	増減無 クラブ	会員減 クラブ	解散 休止	新設 復活	
	令和6年度	令和5年度	増減						
31	大木町	2,502	2,740	-238	9	7	25	1	0
32	飯塚市	2,357	2,599	-242	21	15	41	5	1
33	田川市	1,088	1,276	-188	8	6	20	4	1
34	嘉麻市	2,177	2,263	-86	15	17	40	0	0
35	中間市	405	663	-258	2	3	12	5	0
36	宮若市	1,701	1,825	-124	5	7	24	2	0
37	芦屋町	461	481	-20	3	3	9	0	0
38	水巻町	691	750	-59	4	4	20	1	0
39	岡垣町	1,090	1,261	-171	3	6	18	3	0
40	遠賀町	878	793	85	1	0	8	1	0
41	小竹町	288	352	-64	4	1	5	0	0
42	鞍手町	512	540	-28	2	3	7	1	0
43	桂川町	305	347	-42	3	4	7	0	0
44	香春町	446	443	3	4	5	4	0	1
45	添田町	514	649	-135	1	2	13	1	0
46	福智町	3,064	3,168	-104	4	32	30	0	0
47	糸田町	148	183	-35	1	2	7	0	0
48	川崎町	531	589	-58	6	3	9	2	0
49	大任町	446	445	1	4	3	6	0	0
50	赤村	173	220	-47	2	1	3	1	0
51	行橋市	4,400	4,577	-177	19	17	49	2	0
52	豊前市	2,247	2,726	-479	5	3	43	10	0
53	荏田町	2,950	3,022	-72	11	1	19	0	0
54	みやこ町	3,133	3,405	-272	13	5	34	4	0
55	築上町	960	1,104	-144	2	4	19	0	0
56	吉富町	158	229	-71	0	1	5	0	0
57	上毛町	631	722	-91	7	5	10	2	0
合計		98,686	108,313	-9,627	446	381	1,303	121	13


末広鶴と日の丸

鶴(高齢者)が、両翼を扇(末広)状に広げて、日章(日本)を担っている図、すなわち、高齢者の歩みは、わが国を守り、家庭生活を支えてきたものであることを表す。なお、両翼の張り出しは、高齢者の衰えぬ活動意欲を象徴する。


色彩 金メッキ入り・高級七宝製

内側の円(日章)が赤。外側の鶴が白。
外周の線を金色とする。

会員章



タック式



タック式は、会員章の針を布地に差し込み、裏側からその針を止め金の穴に差し込んで固定します。
※ピン止式もあります。

会員章を胸に活動の輪を広げましょう。

おねがい

<お申し込み・お問い合わせについて>

- ① 会員章にはタック式とピン止式の2種類があります。
- ② お申し込み・お問い合わせは、福岡県老人クラブ連合会 (TEL 092-582-9860) へお願いします。

1口 1,000円

福岡県老人クラブ連合会役員

役職名	氏名	地区名	備考
会長 (代表理事)	松 栄 馨	北 筑 後	久留米市老連会長
副会長 (理事)	岡 本 颯 和	福 岡	福津市シニア連会長
〃	小 野 晃	南 筑 後	大牟田市老連会長
〃	田 中 憲 司	筑 豊	飯塚市老連会長
〃	中 島 章	京 築	行橋市老連会長
〃	猿 渡 春 子	南 筑 後	大牟田市老連女性部長
〃	西 畑 イツミ	京 築	築上町老連会長
常務理事	飯 田 みゆき	事務局	県老連事務局長
理事	井 本 五 男	福 岡	朝倉市シニア連会長
〃	小野田 美智子	福 岡	春日市シニア連女性部長
〃	里 村 廣 志	福 岡	糸島市シニア連会長
〃	足 立 武 敏	北 筑 後	うきは市老連会長
〃	綾 戸 信 之	北 筑 後	広川町老連会長
〃	井 上 初 美	北 筑 後	大刀洗町シニア連女性部長
〃	古 瀬 篤 子	筑 豊	中間市老連女性部長
〃	大 村 和 夫	筑 豊	桂川町老連会長
監 事	田 中 秀 行	北 筑 後	筑後市シニア連会長
〃	西 元 弘 子	京 築	豊前市老連会長

財産管理運用委員会委員

地区	氏名	備考
役員	松 栄 馨	県老連
	岡 本 颯 和	県老連
	小 野 晃	県老連
	田 中 憲 司	県老連
	中 島 章	県老連
	猿 渡 春 子	県老連
	西 畑 イツミ	県老連
	福 岡	福岡力太郎
北筑後	堀 川 義 正	八女市シニア連
南筑後	柿 野 誠	柳川市老連
筑 豊	荒 谷 美 知 郎	水巻町老連
京 築	八 並 智 由	苅田町老連

女性委員会委員

地区	氏名	備考
役員	西 畑 イツミ	県老連
	猿 渡 春 子	県老連
	小野田美智子	県老連
	井 上 初 美	県老連
	古 瀬 篤 子	県老連
福岡	藤 本 秀 子	宗像市シニア連
	山 田 宏 子	福津市シニア連
北筑後	大 隈 利 子	八女市シニア連
	松 下 純 子	小郡市老連
南筑後	古 賀 政 子	大川市老連
	東 原 幸 子	みやま市老連
筑 豊	米 加 田 正 子	遠賀町老連
	川 野 幸 子	遠賀町老連
京 築	長 岡 淳 子	行橋市老連
	清 原 元 子	豊前市老連

健康推進委員会委員

地区	氏名	備考
役員	綾 戸 信 之	県老連
	小野田美智子	県老連
福岡	倉 地 美 智 雄	大野城市シニア連
	嘉 藤 正 昭	古賀市シニア連
北筑後	豊 福 悦 子	久留米市老連
	東 多 喜 子	うきは市老連
南筑後	三 小 田 勲	大牟田市老連
	松 尾 正 幸	みやま市老連
筑 豊	栗 野 良 一	嘉麻市老連
	森 利 勝	宮若市老連
京 築	藤 田 寛	豊前市老連
	織 田 幸 人	苅田町老連

2024年度 指定旅館のご案内

指定旅館をご存知ですか？

指定旅館は、老人クラブ会員の皆さんが会員相互の親睦を図る場として、老人クラブ会員限定のサービスの提供が可能な施設をご案内する福岡県老連の福利厚生事業です。

研修旅行や家族旅行の際にご利用いただくために、毎年度全ての指定旅館を掲載した「指定旅館のご案内」(カラー印刷25ページ程度)の冊子を全部の単位老人クラブに配布しています。

○個人情報保護法との関連

- ・指定旅館と福岡県老連は、福利厚生事業のため福岡県老人クラブ名簿を共同利用しています。
- ・「指定旅館のご案内」の末尾に指定旅館の個人情報管理責任者の氏名を記載しています。この情報管理者の責任において、転写の禁止・情報漏えいの防止など個人情報を管理しています。

※・申込みの際に、福岡県老人クラブ連合会会員(単位老人クラブ名等)であることを伝えてください。

- ・指定旅館からの賛助収益は、県老連の事業を実施するための大きな財源となっております。積極的にご利用いただきますようお願いします。
- ・2023年度の指定旅館から退会された旅館・ホテルがありますので、「2024年度指定旅館のご案内」をよくご確認ください、ご利用ください。

指定旅館の利用手続き

1. 直接、「指定旅館」へ電話し、まず、次のことを伝えてください。

- ①「福岡県老人クラブ連合会」の会員であること(必須)
- ②市町村名、単位老人クラブ名、申し込み代表者名・連絡先
- ③利用日時(宿泊か日帰りか)、利用人数(男性○人、女性△人)
- ④希望するプランまたは予算(食事は2食か、3食か、4食か)
- ⑤グラウンドゴルフ場、会議・研修室、送迎などの特別な希望
- ⑥(必要に応じて)見積書を送ってもらえるかどうか



2. 指定旅館側の説明(見積書)を確認し、申込み時には、次の点にご留意ください。

- ①見積書(特別な希望の費用を含む)が、予算や想定額の範囲内かどうか
- ②特別な希望に、伝えもれがなかったかどうか
- ③人数変更やキャンセルを申し出る際の条件(申し出期間およびキャンセル料の割合)

3. 送迎バスの利用については、指定旅館側の説明を丁寧に聞き、無理な要求をしないようにしてください。(道路運送法上の規制・制限があります)

2024年度 指定旅館

県名と位置番号		指定旅館名	住 所	電話番号 FAX番号
福 岡	1	 甘木館	838-0068 福岡県朝倉市甘木209-1	0946-22-3344 0946-24-1067
	2	 原鶴温泉 原鶴グランドスカイホテル	838-1514 福岡県朝倉市杷木久喜宮1820-1	0946-62-1951 0946-62-3063
	3	 大丸別荘 DAIMARU BESSO Registered Tourist Hotel by Government	818-0058 福岡県筑紫野市湯町1丁目20-1	092-924-3939 092-924-4126
	4	夕日の見える割烹宿 和風旅館 華杏弥太楼	811-3521 福岡県福津市勝浦530-2	0940-62-3282 0940-62-3941
	5	筑後船小屋 国民宿舎 公園の宿	833-0015 福岡県筑後市津島2108-1	0942-42-1126 0942-42-1125
	6	筑後川温泉 つるき荘	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1096-1	0943-77-3181 0943-77-3605
	7	 花景色	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1097-1	0943-77-2110 0943-77-2079
	8	自家源泉かけ流しの宿 筑後川温泉 清乃屋 温泉総選挙うる肌部門 全国一位獲得	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-3	0943-77-2188 0943-77-3270
	9	 筑後川温泉 ふくせんか	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-8	0943-77-3131 0943-77-7450
	10	温泉、料理、観光と笑顔でおもてなしの宿 筑後川温泉 川畔のお宿 桑之屋	839-1405 福岡県うきは市浮羽町古川1099-10	0943-77-2148 0943-77-2700
	11	 KAMENOI HOTEL 亀の井ホテル 柳川	〒832-0057 福岡県柳川市弥四郎町10-1	0944-72-6295 0944-72-6296
	12	 CARNAPARK 花立山温泉	838-0821 福岡県朝倉郡筑前町上高場795	0946-23-0001 0946-23-0011
熊 本	13	スタッフ一同お待ちしております ホテルセキア RESORT & SPA	861-0804 熊本県玉名郡南関町大字関村1556	0968-69-6111 0968-69-6116
	14	天然温泉の宿 玉名ファミリー温泉旅館	865-0061 熊本県玉名市立願寺428	0968-74-3888 0968-74-3889
	15	 玉名温泉 心づかしの湯	865-0061 熊本県玉名市立願寺東段656-1	0968-72-7777 0968-72-7783
大 分	16	 ryokan 天龍	879-4203 大分県日田市天瀬町湯山1137	0973-57-2370 0973-57-2373

※詳細な内容につきましては、各単位クラブに配付しております「2024年度 指定旅館のご案内」でご確認ください

2024年度は、2つの旅館（大丸別荘、ふくせんか）が新しく指定旅館に変わりました！

老人クラブ会員向けに

傷害保険・賠償責任保険で

**安心
補償**

全国老人クラブ連合会では所属の単位老人クラブの会員向けに、もしもの時にそなえる保険をご用意しています

老人クラブや会員だけが利用できる保険です。

全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および
市区町村老連に所属している単位老人クラブが加入できます

ご自身のケガの補償

老人クラブ傷害保険

24時間型 活動型

自分がケガをしてしまった時の保険です。

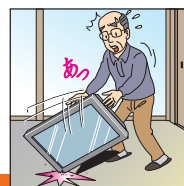
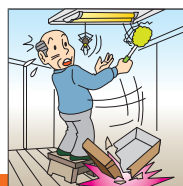


会員は所属クラブを通じての任意加入となります。

相手の物、ケガの補償

老人クラブ賠償責任保険

他人の物を壊したり、
ケガをさせた時の保険です。



クラブ全会員での加入が条件となります。

新規加入をご検討のクラブ(会員)へ

★クラブの保険担当者を1名お決めください

(会長等の役職者である必要はありません。実際にお世話される方をお願いします)

★加入申込書のご請求

以下の項目を明記のうえFAXまたはハガキまたはEメールで全国老人クラブ連合会「保険係」まで資料請求してください。お電話でも承ります。

- | | | |
|-------------|-------|----------------------------|
| ①所属の市区町村老連名 | ④郵便番号 | ⑦全会員数 |
| ②単位老人クラブ名 | ⑤住所 | ⑧加入予定人数 |
| ③保険担当者氏名 | ⑥電話番号 | ⑨希望の保険(傷害保険または賠償責任保険または両方) |

◆資料請求受付期間

老人クラブ傷害保険

7月1日から8月末日、1月4日から2月末日

老人クラブ賠償責任保険

随時受付中

資料請求
お問い合わせ先



公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

受付時間 9:30から12:00まで
13:00から17:00まで
(土、日、祝祭日、年末年始休)

加入申込書等、
資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ
ご相談先

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス hoken@senior-ltd.com

〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

※この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険、総合生活保険(傷害補償))」と「老人クラブ賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。

ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要・重要事項説明書」等をよくお読みください。ご不明な点につきましては、全老連「保険係」までお問い合わせください。